



文部科学省

地(知)の拠点

COC事業を始めとする様々な地域活動をお伝えする広報誌！！

杏林大学では2013年度に文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)に採択されました。「新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点」として、「生きがい創出」「健康寿命延伸」「災害に備えるまちづくり」の3分野を取り上げ、三鷹市、八王子市、羽村市の3市と連携事業を進めています。

この地域交流活動かわら版は、連携3市との様々な取り組みを「見える化」し、更なる地域交流活動を促進させることを目的としております。

地域交流活動かわら版

vol.11 2015/11/26

地域交流課



NEWS

多くの子どもたちで賑わう！防災ふれあいフェアを開催！



10月18日(日)、「防災ふれあいフェア～家族で楽しむ防災訓練～」が八王子キャンパスで開かれ、親子連れなど331名の来場で賑わいました。

本イベントは「地(知)の拠点整備事業」の本学のテーマの一つである、「災害に備えるまちづくり」の事業の一環として、家族で楽しみながら防災意識を高めてもらおうと、八王子消防署との共催で実施しました。

フェアは八王子キャンパスの校舎前の広場や教室を使って行われ、起震車による地震体験、初期消火訓練、放水訓練、火災発見時の大声通報訓練、レスキュー訓練など盛りだくさんのイベントが展開されました。

本学からは保健学部、総合政策学部、外国語学部の教職員や学生合わせて114名が参加し、それぞれの教育・研究を活かして応急救護や運動・健康相談、防災クイズ、被災外国人のための日本語指導などにあたりました。

また共催の八王子消防署からも署員36名と車両5台が参加し、校舎屋上からロープで降下する訓練を披露したりそれぞれの訓練場所で注意事項を呼びかけたりするなど指導にあたっていました。

さまざまな訓練に参加して決められたポイントをためると梯子車に乗ることが出来るため、子供たちはいろいろな訓練を体験し、30mの高さまで上がるバスケットに搭乗して歓声を上げていました。



- ・総合政策学部三浦ゼミ、消費被害防止に向けて市と協働
- ・スノードン先生講演会、盛況にて開催されました！

総合政策学部三浦ゼミが 八王子市消費生活センターに協力

11月17日（水）、八王子市消費生活センターの方2名が来校し、三浦ゼミの学生と共に消費トラブルへの注意喚起を促すクリアファイル、リーフレットの配布活動を行いました。

この活動は総合政策学部三浦ゼミ2年の百岳彩さん、真島美有さんをはじめとする学生達が「大学生向け消費者トラブル被害防止リーフレット」の作成に協力したことに始まります。2人が中心となり、「Yes/Noチャート」による危険度チェックや消費生活センターのQRコードといった学生ならではの視点・アイデアが盛り込まれたリーフレットを完成させました。

活動に参加した百岳さんは「消費生活センターの方から話を聞いた時に身近な話だなということを感じました。リーフレットを作成し始めてからはどうやったら見てくれるか、伝わるかを考えていましたが、完成した今、1人でも多くの学生が消費トラブルにあわないようにしたい。そして消費被害がなくなっしてほしい。」と話してくれました。

このリーフレットは大学コンソーシアム八王子に加盟する大学の他、近隣市の大学にも配布されます。



三鷹国際交流協会にてスノードン先生が講演

11月14日（土）三鷹国際交流協会の国際理解講座において、本学副学長のポールスノードン先生による『これでいいの？ 日本の英語～「ネイティブ」からのアドバイス』の講演を行いました。盛況により定員を超えて、多くの三鷹市民の方々の参加がありました。

身近なお店や商品のカタカナ表記は...？、発声と表記の関係は...？、カタカナで表現された日本語はどうなってる...？などなど、身振り・表情を交えた講演は、参加者をすっかり夢中にさせ、アツというまの90分が経過、終了後には質問が続出しました。アンケート結果にはまた話を聞きたいとの声も多くみられました。

この講演会開催に当たっては外国語学部の学生5名がボランティアとして参加しました。会場設営、受付、参加者誘導、後片付けと大活躍。参加者にその活躍を紹介いただくなど、杏林大学の先生と学生のチームワークによる講演となりました。



◆かわら版についてのお問い合わせ
杏林大学 地域交流課 渡辺・依田
Tel 042-691-8725 (内1105)
Fax 042-691-3809
Mail area@ks.kyorin-u.ac.jp